

## わかる授業を目指して

羽島高校では「わかる授業」を追求するため、教員の校内研修として教科ごとの授業研究を進めています。今回（9月20日）は体育の授業でした。

授業のポイントは、バドミントン競技の特性（普通のボールとシャトルの違い等）を理解して、特性に応じた球種を使い、攻防を楽しむことです。

本時の授業では、ロブ、ドロップ、ヘアピン、クリアの4球種を利用して相手のいない空間を攻めることで崩し、甘くなった返球をプッシュしてポイントをとるという戦術練習をしました。前回の授業では甘い返球を見逃すことが多かったのですが、バドミントン経験者による手本を見せながら甘い返球（チャンスボール）を解説することでイメージができたようで、プッシュでポイントを上げられるようになり、喜ぶ姿が見られました。

### 今回の授業で使った球種の解説

- ロブ … ネットより低いところから相手の頭上を越えて打ち返す。
- ドロップ … コートの後方から相手のネット際へ落とす。
- ヘアピン … 自分側のネット際から相手側のネット際へ落とす。
- クリア … ネットより高いところから相手の頭上を越えて打ち返す。
- プッシュ … ネットより高い位置から相手のコート床面に向けて押し込む。

